

No. 1377

日本、ソ連を圧倒

— 日ソ対抗バレー（女子）第4戦 —

日ソ対抗女子バレーボール第4戦、全日本対ソ連の試合は5月31日、東京都体育館で行われました。この大会すでに3連勝している日本はこの日も横山のスパイク、江上の速攻などで好調なすべり出しを見せます。これに対し若いソ連は吉永の好サーブにペースを乱し、レシーブの動きがあまくなりなかなか波に乗れません。結局第一セットは15対9で日本が先取。第二セットも危なげ無く連取した日本は第三セットに入っても横山、水原が左右からスパイク速攻を決めて、ソ連を圧倒します。ソ連もようやく本来のペースを取りもどし、反撃に転じます。ベテランのソロボア、若いアハミノワの長身コンビが高い位置からのスパイクを決め。一時は日本を逆転。しかし自らのスパイクミスで14対14のジュース。結局このセットも日本が取りゲームセット。日本は6月1日行われた試合で負け対戦成績を4勝1敗としました。

東京の消防100年

東京の消防制度が明治13年に誕生してから、6月1日でちょうど100年を迎えました。この日、東京銀座で記念パレードが華やかに行われました。パレードには鈴木東京都知事をはじめ消防少年団など700人、車両25台が参加。大正時代に輸入された自力走行のクラシック消防車も堂々の行進、集まった見物人の人気を呼んでいました。消防100年展には江戸から明治、大正昭和の消防の貴重な資料や装備品が数多く展示されました。昭和初年発生した白木屋の火災で焼けた消防隊のはしごなど展示品のひとつひとつが、波乱にみちた世起にわたる消防の歴史を物語っています。東京の消防は都民と共に増々、近代消防として充実していくことでしょう。

衆・参ダブル選挙スタート

自民党の単独政権か、それとも連合政権か、80年代の政治動向をうらなう第36回衆院総選挙は6月2日公示された。去る5月30日にスタートした参院選とあわせ、22日の投票日に向けて、わが国の政治史上初初めての衆・参ダブル選挙は本格的な論争を展開した。社会党の提出した大平内閣不信任案が引きがねになっただけに、飛鳥田委員長も強気の姿勢。自民・社会両党中心の55年体制打破を目ざす公明、民社、新自、社民連の中道勢力。どれだけ、議席を伸ばすか、注目される。衆・参ダブル選挙を最も歓迎している共産党。その組織力がためされる。分裂さわぎの自民党は大平総裁が過労で入院。ダブルパンチを受けた格好。初めての衆・参ダブル選挙、政界地図は、はたして、どう書きかえられるか？